

2020年に、天守閣を再建する。

江戸城天守閣が再建されたら、世界が目にする「日本の宝」になるでしょう!

「認定NPO法人」
全国の事例
case2

認定NPO法人 「江戸城再建を目指す会」 (東京都)

国際的な観光客の誘致が活発になっている中、地域再生の取り組みが全国各地で行われている。認定NPO法人として活動に弾みをつけようとしている。NPO団体が、なぜ今、江戸城を再建しようとしているのか。理事長の小竹直隆氏に話を聞いた。



理事長 小竹 直隆 さん
JTB代表取締役専務などを経て、東京観光財団(TCVB)の初代専務理事となる。東京都観光審議会委員などを歴任。



東京神保町で街頭署名活動をする仲間達

私たちは、350年前の明暦の大火で焼失した江戸城寛永度天守閣の再建を目指している。世界5大都市には、東京を除いて、北京には紫禁城、パリにはベルサイユ宮殿、ロンドンには Buckingham Palace、ニューヨークには自由の女神など、その国の歴史と、伝統、文化を代表する記念碑がある。しかし、東京に

○首都東京に
日本を代表する
歴史的建造物を

はこれといった大きな歴史建造物が無い。もし、首都・東京に江戸城が再建されたら、日本の歴史と伝統、文化が世界各国から注目されるきっかけになるのではないかと。その為にも、江戸城を再建して、観光立国を目指す日本の象徴になるランドマークをつくりたい。その為に私たちは活動している。

○復興・再生のシンボルに

江戸城が再建されたら、日本の歴史、伝統・文化の象徴として後世への贈り物になる。また、魅力ある「観光立国」のシンボルになるだけでなく、平和のシンボルとして国際的な交流拠点に、そしてまた、3・11東日本大震災から立ち直り、「日本の復興・再生」を目指す新しい国づくりのシンボルになる、と信ずる。

○平成22年6月17日には、天守の「復元図」CGも公表している。



復元創作： 広島大学 三浦正幸教授
CG：(株) エス社
提供：認定NPO法人 江戸城再建を目指す会

○建設資金を集める

江戸城を再建する敷地は、皇居の東御苑の一角にあり、宮内庁の管理下にある。場所が場所だけに再建が許可されるまでの道は容易ではないが、江戸城再建を望む人々が広がり、国民的な世論が広がってけば、決して叶わない夢ではないと考える。それを信じて活動している。木造天守閣の建設費は数百億円ともいわれるが、建設資金は、1、2年後、再建計画を軌道に乗せた段階で、本格的な募金活動を進める予定でいる。

○認定NPO法人になった価値

認定NPO法人制度とは、民間の活動で

あっても社会的に有益な活動に対して寄附した場合、寄附者に税金を50%程度還元しようとする画期的な制度である。昨年4月に、私たちの法人は認定NPO法人となった。認定NPO法人になったお蔭で、今後、寄附金に対してかからない規模で税制上の優遇措置を得られることになるからだ。これを契機に、組織の基盤整備を進めて、江戸城再建を目指して、本格的な活動を展開していきたい。

○認定NPO法人になるときの苦労

認定NPO法人となる為には、8個の認定基準をクリアしなければならず、苦労があった。しかし、私たちの場合、会員全体の8割の賛助会員が対象となっており、賛助会員も2,000人を超えているので、質量共に認定NPO法人の要件をクリアする力があると考えていた。このような体制があったことが認定を受けられる要因ではあったが、私たちにどうしても認定を受けたいという志があった。認定を受けるためには、この志が大事だと思う。NPO活動をする市民自身が志を持ち、自らの意思で動くことが大事であると思う。こうした自主的な活動が次第に社会に認められて大きな流れとなっていく。

○岩手県のNPO法人への激励

東日本大震災については、被災された皆さんには、心より、お見舞い申し上げます。新しい「民の力」が求められているとき、民間団体が社会貢献をしようとする動きは、時代を動かす大変重要な意味合いを持っている。認定NPO法人は、新しい市民社会の担い手として社会を変革する主役になると思われる。そういう新しい時代の大きなうねりが、今、目前に近づきつつあると予感している。認定をめざしている岩手県のNPO法人の皆さんには、ぜひ認定を受けて、自分達の活動を飛躍させてほしい。

平成23年度の収支計算書

(単位:円)

収入の部	
会費収入	6,629,000
事業収入	1,160,700
寄付金収入	3,942,800
募金収入	3,510
その他収入	152,544
収入合計	11,888,554
支出の部	
1. 事業費合計	9,099,828
2. 管理費合計	3,079,959
支出合計	12,179,787
収支差額	△291,233
次期繰越収支差額	3,870,907

認定NPO法人「江戸城再建を目指す会」の紹介

- 平成16年の任意団体を継ぎ、平成18年に、東京都の認証を得て、NPO法人「江戸城再建を目指す会」を設立。平成23年4月には認定NPO法人としての認定を受けた。
- 江戸城再建セミナー・講演会や江戸城を歩くイベントなどを行って、再建の機運を高める活動に取り組み。平成24年6月現在、会員総数は、2,600名を超えつつあり、このような歴史と組織基盤を土台にして、平成25年には「再建を目指す会」から「再建する会」に移行し、2020年には、江戸城天守閣再建の夢を実現する、ロードマップを発表した。
- 法人のこれまでのあゆみ
(左記の5段階の運動を展開していく)
- ① 任意団体の設立
- ② NPO法人の認定
- ③ 各界、各階層に広く、草の根運動・展開
- ④ 築城プランの具体化と、国民的な再建運動の展開へ
- ⑤ 「江戸城天守閣」を再建へ

○これからの方向
いまはこの段階!

認定NPO法人「江戸城再建を目指す会」

住所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-20 ワカヤギビル 402
TEL：03-6423-1882 FAX：03-6423-1897
E-Mail:n.odake-edojo@nifty.com

後記

今回は認定NPO法人の特集号となりました。今年改正になった点などご理解いただきました。すでにこの制度を活用されているNPO法人では寄附などを集めやすくなったといえます。税制上の優遇もさることながらしっかりとしたNPO法人という印象を持たれていることも一因のようです。認定は必要ないと思われるNPO法人でも認定の取得を検討してみたいかご紹介します。